

平成31年 1月22日
東北地方整備局

入札監視委員会の審議概要について (第一部会第3回定例会議)

東北地方整備局入札監視委員会の平成30年度第一部会第3回定例会議が、平成30年12月18日(火)に仙台市の東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要(別紙)についてお知らせします。

なお、第一部会第3回定例会議では、委員会が抽出した案件9件の審議が行われ、意見の具申又は勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局

(第一部会) 仙台市青葉区本町3-3-1

TEL (022) 225-2171 (代表)

主任監査官

入札契約監査官

契約管理官

技術開発調整官

さとう ひろあき
すず 博明 (内線2114)

鈴木 浩三 (内線2220)

なかしん 由雄 (内線2222)

はたけ やま 浩晃 (内線3120)

東北地方整備局 入札監視委員会（第一部会） 審議概要

開催日及び場所	平成30年12月18日（火） 東北地方整備局 大会議室	
委員	部会長 久田 真 【(国)東北大学大学院 工学研究科 教授】 部会長代理 泉田 成美 【(国)東北大学大学院 経済学研究科 教授】 委員 大泉 太由子 【(一社)東北圏地域づくりコンソーシアム 理事】 委員 鈴木 覚 【弁護士】	
審議対象期間	平成30年 7月 1日 ～ 平成30年 9月30日	
審議案件	総件数 9件 (別紙-1 審議案件一覧のとおり)	
工事	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象）	1件
	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象以外）	4件
	工事希望型競争入札	0件
	指名競争入札	1件
	随意契約	0件
	建設コンサルタント業務等	2件
役務の提供等及び物品製造等	1件	
委員からの意見・質問、それに対する説明・回答	別紙-2のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	別紙-3のとおり	

審議案件一覧

【工事】

入札方式	工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事)	東北中央自動車道 柱田地区トンネル工事	一般土木工事	23	10	平成30年9月25日	五洋建設(株)	3,617,892	90.2	福島

入札方式	工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	力持高架橋上部工工事	鋼橋上部工事	9	9	平成30年8月21日	高田機工(株)	471,420	90.1	三陸国道
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	旧北上川右岸石井水門ゲート設備設置工事	機械設備工事	1	1	平成30年7月4日	旭イノベックス(株)	85,320	99.7	北上川下流
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	米代川川口地区堤防整備工事	一般土木工事	3	3	平成30年7月26日	(株)タナックス	197,640	90.0	能代
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	いわき地区橋梁補強補修工事	維持修繕工事	1	1	平成30年9月10日	ショーボンド建設(株)	122,040	99.4	磐城国道

入札方式	工事名	工事種別	指名業者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
工事希望型以外の指名競争入札方式	宮城県警察学校(18)建築改修工事	建築工事	20	3	平成30年8月20日	遠藤建業(株)	14,688	93.2	営繕部

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業務名	業務区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
簡易公募型プロポーザル方式	湯田ダム耐震性能照査業務	土木関係建設コンサルタント業務	1	1	平成30年9月19日	日本工営(株)	21,492	98.4	北上川統管

入札方式	業務名	業務区分			契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
随意契約方式	角川流域航空レーザー計測緊急調査	測量			平成30年9月28日	朝日航洋(株)	43,308	99.6	新庄

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業務名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
一般競争入札方式	雪庇処理車1台交換購入	物品の製造等	1	1	平成30年8月23日	(株)サナース	56,052	99.0	企画部

1. 報告	
意見・質問	説明・回答
<p>・報告のあった「指名停止等の運用状況等について」公正取引委員会との間で、具体的な案件、あるいは具体的な案件以外で、意見交換又は情報交換などするものか。</p>	<p>・談合情報や疑義案件以外での意見交換や情報交換等はない。</p>

2. 審議	
意見・質問	説明・回答
1 東北中央自動車道 柱田地区トンネル工事	
<p>・落札した企業より低価格で入札した企業が技術評価点により落札できなかったが、評価のポイントとなったものは何か。</p>	<p>・2つの指定テーマに関して、最大5つの技術提案を求めた。地質特性に応じた確実なトンネル掘削方法や、品質の高いコンクリート打設及び工事中における周辺環境への配慮等、高い効果が期待できる提案かどうかを評価のポイントとしている。</p>
2 力持高架橋上部工工事	
<p>・入札価格が調査基準価格を下回った企業が、提出すべき書類を提出しなかったため無効としたとのことだが、提出すべき資料はどのくらい細かい内容を求めるのか。</p> <p>・過去にも同様の事例があったが、調査基準価格を下回ったので施工がきちんとできるかどうか調査するという仕組みは有効であると思うが、実態としては多くの企業が追加資料を提出をせずに無効となっており、調査基準価格が最低制限価格のような役割になってしまっていると思われる。何らかの工夫が必要と思われる。</p>	<p>・調査基準価格を下回った場合、施工体制を確認するための書類提出を求めるが、受注した場合を想定しての内容となるため結構なボリュームになる。</p> <p>・これまでには提出期限までに提出した企業もある。評価点そのものも1点を争うような入札が多く、調査基準価格以下だと施工体制評価点で満点をとることは難しいため、追加資料を提出しない業者が多いと思われる。</p>
3 旧北上川右岸石井水門ゲート設備設置工事	
<p>・ゲートに対しての駆体との説明であったが、それがこの工事なのか。</p>	<p>・駆体と説明したのは、ゲートを受けるコンクリートの部分であり、資料の写真で見るとわかるが、クレーンで吊っているのが今回の目的物、ゲートであり、それを囲むようにある白いコンクリートに、青い「ハ」の字に見える扉、観音開きに開け閉めする扉を蝶番で</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・ 躯体について了解した。今回その躯体の部分が旭イノベックスということだが、こういったゲートの工事は多くないのかもしれないが、別々に発注するのはどうか。 ・ そういう契約であれば、随意契約なのではないか、という気がするが、随意契約ではなく一般競争入札とした理由を説明してほしい。 ・ 重要文化財の石井閘門に配慮した工事になる、とのことだが、技術的、工法的に特別なものが求められたのか。 ・ 技術評価の加算点が大変低い印象だが、施工に影響ないという判断だったのか。 どのような評価をしてこの点数になったのか。 	<p>とめる工事である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 躯体の工事は旭イノベックスではない、別の事業者が施工したものである。旭イノベックスは門扉自体を過去に製作して据付ける工事を平成27年度に受注しており、それが躯体部分が遅れたことにより、据付部分だけを取止めて、製作だけを行い平成28、29年度と仮置きをし、今回、新たに据付だけを公募して、旭イノベックスが受注した、ということである。 今回の据付工事は専門業者でなければできないので、一般土木工事のコンクリート工事とか土工工事と、ゲートの機械設備工事と別途の発注とした。 ・ 参加できる条件を広げている、ということ。施工できる者が絶対1社かということ、ゲートの施工実績で検索すると、施工できる企業が18社あり、競争性を高めて一般競争とした。 ・ この箇所は地盤が悪く、重量物を設置することによる沈下の影響と、周辺の景観について配慮が必要であった。 ・ 点数が低くなっているが、施工能力については問題ないと考えている。企業と技術者の能力の評価の際、より同種性の高い100㎡以上のヒンジ型のゲートの実績がなかったため加算点が低かったが、扉を上下させるゲートの実績があるので、必要最低限の技術力はあると考えた。
<p>4 米代川川口地区堤防整備工事</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成25年8月の洪水により被害が出て、今まで4年が経過しているが、緊急措置も施した上での本工事の契約か。 ・ 地元からの要望があったと思うがもう少し迅速な対応要望はなかったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 応急復旧は実施しており、本復旧として平成27年度に用地買収に着手し、平成28年度から工事着手している。 ・ 家屋がすぐ裏手にあったことから、用地買収に伴う事業説明に着手し、迅速に対応したところである。
<p>5 いわき地区橋梁補強補修工事</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 競争参加資格要件も細かいものではなく、入札に参加しやすいと思われるが、結果として1社入札となっており、施工条件が厳しいとの説明であった。このような橋梁の補修は今後も多くの箇所が必要となってくると思うが、競争性を確保するため入札参加者数を増やすにはどういふところを工夫すべきと考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東北の場合、現在、震災復興の工事がかなり潤沢に出ているときであり、建設業者が不足しているということも原因の一部としてあると考えている。 補修系に関しては耐震補強も含めて、修繕の老朽化対策もかなり発注されており、これらも複合的に影響していると考えている。 入札で改善を図っていく方法と、積算で改善を図っていく方法と地域の特殊性なども考えて競争性を担保していくことが必要だと考えている。

6 宮城県警察学校（18）建築改修工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・調査基準価格を下回った入札により無効となった企業があるが、経緯を説明願いたい。 ・C等級から10社、D等級から10社の20社指名となっているが、総合的評価を見ると同点でありながら指名、非指名の企業があるが基準はあるのか？ ・明確な理由があることは理解したが、次回から選定した基準を記載して貰いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査基準価格を下回った企業から、調査資料の提出があり、ヒアリングを実施した結果、提出書類の不備、説明に矛盾があったことから無効とした。 ・工事成績の上位者、技術的適正等により、さらに絞り込みを行い指名している。
7 湯田ダム耐震性能照査業務	
<ul style="list-style-type: none"> ・ほかのダムも逐一、耐震性の照査をしているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかのダムも順次、照査業務を実施しており、北上川ダム統合管理事務所においては、湯田ダムの照査が最後となる。
8 角川流域航空レーザー計測緊急調査	
<ul style="list-style-type: none"> ・随意契約ということで、災害時等応急対策業務の協定書により随意契約したとのことだが、協定を結ぶまでの経緯を説明してほしい。 ・協定を締結する場合の企業にとってのメリットは。 ・随意契約理由書を見ると事務所長と朝日航洋とで協定を締結しているように読み取れるが如何か。 ・予定価格について、どのように算出したのか？また、予定価格の適切性をどのように確認しているのか。 ・見積りは朝日航洋だけか、他社を含めた見積り合わせか。 ・緊急随意契約とはいえ、1社による随意契約であるので、1社の見積りにだけ頼るのではなく、可能な限り複数社から見積りを聴取するなど適正価格であるか確認して貰いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新庄河川事務所においては、4区分に分けて協定を締結しており、公募により実績のある企業と協定を締結している。 ・企業にとってのメリットとしては、災害が発生した場合の社会貢献等があると考えられる。 ・5社と協定を結んでおり、その中で緊急時に対応可能な企業と随意契約することとしており、今回は朝日航洋と随意契約したものである。 ・今回の業務においては、公表されている標準歩掛りがあるので、それによって積算しているものである。また、歩掛りのないものについては見積りを参考に積算している。 ・朝日航洋からの見積りによる。 ・企業からは歩掛り設定がある部分も含めた全体見積りを提出して頂き、官積算との比較により妥当性を確認している。

9 雪底処理車 1 台交換購入	
<ul style="list-style-type: none"> ・結果的に 1 社入札となっているが、このような特殊車両を製作しているのは何社くらいあるものか。 ・(株) サナースは、メーカー又は販売会社か？ また、車両は国産車か。 ・購入にあたっては、車種を特定したものか、あるいは機能を提案させ選定したものか？ 国産車も対象となっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建設機械メーカーをはじめ、国内外で 6 社程度想定していた。 ・(株) サナースは輸入代理店である。また、今回の車両はドイツの会社が製作したものである。 ・雪を掴むバケット容量等を仕様書に規定し、合致する車両を納入させるものである。

3. 委員会による意見の具申又は勧告内容

本日の審議案件について、意見の具申又は勧告事項はない。

ただし、今後の入札契約手続きにおいて意見要望がある。

- ・工事の入札において、低入札の場合に追加資料を提出せずに無効となっているものが多く、調査基準価格が最低制限価格のような役割になっているように思われる。作成資料のボリューム等が問題なのであれば、当該企業への配慮をご一考いただきたい。
- ・レーザー計測の緊急時対応において協定を締結してサポートして貰う体制を構築することは重要なことではある一方で、予定価格の積算について適切性が要求されることになると考えており、今後、検討していただきたい。
- ・危機管理について価格的に割が合わない、という話が前々から続いているなかで、そうはいつても老朽化は止まるものではなく、何とかしなくてはならないとの問題意識を持っていると思われるが、契約を合理的にし、工事価格をきちっとすることで、適切な維持管理が達成できるのではないかと感じている。契約後の維持管理を定着推進させるために有効な手段ではないかとの観点で、今後も契約を公平中立な立場で進めていただきたい。

今後とも、入札及び契約手続きにおける一層の透明性及び競争性の確保など、入札・契約業務の適正な執行を図っていただきたい。

【当局からのコメント】

本日は、年末のお忙しい中、長時間にわたりまして、久田部会長をはじめ委員の方々には貴重なご意見、また、ご要望等を賜りまして、誠にありがとうございました。

ただ今、ご審議いただいた上で、3点のご意見、ご要望を賜りました。

私どもとしまして、この件につきまして、透明性・競争性を確保する観点と、今後、さらに入札契約につきまして、適正化を図り、しっかりと検討を行ってまいります。